設常任委員会

伴う公園維持修繕費その 他を追加計上しようとす 雨による被害への対応に いて、台風21号などの大 議案の概要 ○平成29年度宇都宮市 般会計補正予算 土木費にお

で原案のとおり可決。 委員会の結論 全会一致

議案の概要 ○宇都宮市道路占用料 条例等の一部改正 道路法施行

る占用料の額の改定など をしようとするもの。 共物及び下水道施設に係 用河川占用料、法定外公 に準じ、道路占用料、準 の占用料の額の改定など 令の一部改正による国道

例、準用河川占用料条例、 額はどう変わるのか。 模で試算して約40万円の 法定外公共物管理条例、 正に伴い、29年度予算規 ト水道条例の4つの条例改 疑 条例改正で収入 道路占用料条

> で原案のとおり可決。 委員会の結論 全会一致

の一部改正 宇都宮市手数料条例

で原案のとおり可決。 規定しようとするもの。 申請などに係る手数料を 律の一部改正により、低 の供給の促進に関する法 委員会の結論 全会一致 たことに伴い、当該登録 録制度が新たに創設され 住宅を賃貸する事業の登 住宅の確保が必要な人の 額所得者、被災者など、 入居を拒まないこととして 慮者に対する賃貸住字 案の概要 住宅確保要

ついて、債務負担行為を

るよう陳情する。

運動公園管理業務などに るもの。また、河内総合

うとするもの。 の指定管理者を指定しよ ○指定管理者の指定 議案の概要 八幡山公園

で原案のとおり可決。 委員会の結論 全会一致



八幡山公園

の結果、不採択。

増収を見込んでいる。

文教消防水道常任委員会)平成29年度宇都宮市

庭・地域教育推進費及び 児童数増加に対応するた どを追加計上しようとす 放課後活動施設整備費な 子どもの家等事業の利用 議案の概要 施設整備に伴う家 般会計補正予算 教育費で、

なった理由は。 ではなく、補正予算で10 校も整備を行うことと 業の施設整備を当初予算 設定しようとするもの。 疑 子どもの家等事

であるため、補正予算で 調査や就学時健診時に把 対応した。 を受け入れるための改修 握した、30年度に入学 利用を希望する児童 明 29年6月の意向

の移行について反対である 園管理業務の指定管理へ ため、賛成できない。 河内総合運動公

> の結果、原案のとおり可決。 委員会の結論 起立採決

ブリックコメントを実施す 重要であることから、パ 様な意見を求めることが にあたり、広く市民に多 陳情の趣旨 計画の策定 パブリックコメント 宮市読書活動推進計 の実施を求める陳情 (仮称) 第2次宇都 (素案) につい

あるため、採択としたい。 市民に意見を聞くべきで 計画の重要性から、広く るとは言えない現状や、 推進が万々歳で進んでい 見 市民の読書活動

くのアンケート調査をし 委員会の結論 から、不採択としたい。 トを実施予定であること 計画で、 パブリックコメン 中の第3次地域教育推進 ている。また、現在策定 であり、策定に際し、多 教育推進計画の実施計画 計画は、市地域

会運営委員会

続審査としたい。

○平成29年11月2日下 選挙法における市議 野新聞記事参考公職 の書類送検について

いての考えを一覧表で記 とで不手際が生じ、問題 に自浄作用がなかったこ 送検については、 載すること、公職選挙法 得ることや議会広報紙に を掲載し、市民の理解を にこれまでの詳細な経 を大きくしたと考える。 案件である。市議会全体 全体で厳しく対処すべき 各議員の辞職・停職につ 陳情の趣旨 そのため、議会広報紙 市議の書類 、市議会

起立採 情する。 に失職となるかについて教 願意をまとめていただく は審議になじまないところ きであるが、陳情事項に があり、再度、陳情者の ることは重く受け止めるべ 示することなどについて陳 見 陳情が提出され

> としたい。 ないことなどから不採択 照らし、どのような場合 い。また、公職選挙法に 掲載するなどの事例はな 考えを一覧表で広報紙に 停職についての各議員の の判断を議会は教示でき !失職になるかという法 見 これまで辞職・

に照らしどのような場合 したい。 あり、現時点で陳情の内 きであり、趣旨は理解で 再発防止の徹底を図るべ でないことから不採択と 容を実施することは適切 きるが、検察の捜査中で 見 市民への説明と

必要があることから、継 た後、委員2名が退席 まえ、今後、別途、 前に行動を起こすべきで るが、司法の判断が出る を求める意見が退けられ ら、不採択としたい。 していくべきであることか はなく、司法の判断を踏 意見の一つであると考え 委員会の結論 継続審査 全会一致で不採択。 市民を代表する 検討